

おおきなかぶ

昨年12月の園芸サークルは、ロシアの民話「おおきなかぶ」を、即興をまじえて、通し稽古1回のみで上演しました。でっかいかぶも、昼休みのうちにできあがっていました。職員が音頭をとりますが、ナレーター（読み手）と出演は利用者様にいただきました。「おおきなかぶ」は、1966年に福音館書店から出版されました。ロシアの民話を内田莉莎子さんが訳をした本です。最後にかぶが抜けるというお話が分かりやすいということで、今回“採用”しました。（上演中、演出に必死で写真を撮り忘れました）

植いき新聞



植物いきいきサークル

第106号

発行者:川端、菅原、村田、孫崎、古新



新年明けての園芸サークルは、植え替えと種まきを行いました。緑はよいものです。

あー、種はなかなか緑にならず…

今年もいろいろなことに挑戦していきたいと思います。

お詫び：新聞を出せないまま時間が過ぎ、季節感のない記事となったことをお詫び申し上げます。



2月は、「おしゃべりの会」を開催しました。目の前の観葉植物を眺めながら、I先生に持ってきていただいたたゆずの味見を。笑顔がこぼれる酸っぱさでした。

昨年11月に行われた園芸サークルは、天気がよく暖かな日だったこともあり、敷地内の庭の前で座りました。座ったまま約45分間を過ごしました。隣の人としゃべったり、少し散歩してみたり。それぞれ思い思いの時間を過ごされました。聴こえてくるのは、風によって木々の揺れる音。普段はデイサービス内での“人工的な刺激”がほとんどでしたが、この日は“自然からの恵み”を拝借。真っ青な快晴や心地よい風に包まれました。